



玉垣小学校だより

令和8年6月9日（火）学校通信 第4号

4月の生活目標の振り返り～代表委員会～

今年度、5・6年生（各クラス2名ずつ選出合計16名）から構成された代表委員会を立ちあげました。

その中で、会長1名、副会長2名、書記2名が選出されました。代表委員会とは、全校のために動く大事な役割があり、全校の中心となって学校を引っ張っていくための委員会です。自分たちで集会を成功させるために動いたり、全校の前で話したりします。また、どんな集会にしたいかを代表委員会で話し合い、企画することもします。これまで、先生が考え、先生が話していた集会を、こどもたちのアイデアで、こどもたちの言葉で創り上げることができる委員会です。

5月13日（水）にオンライン集会が行われ、楽しく、安全に過ごすための玉垣小のきまりについて、特に大切だと思った3つのポイントについて話しました。

①中庭の過ごし方

中庭は、植物を観察したり、静かに休憩したりするための場所です。走り回ったり、花壇に入ったりせず、周りの人や生き物、植物のことも大切にできる中庭にしていきたいです。

②クロームブックの使い方

「学びを助ける魔法の道具」でも、使い道を間違えと、ただの「遊び道具」になってしまい、大切な学習時間を奪ってしまいます。

「今、何をやる時間なのか」「これは学習に必要なことか」を、一人一人が自分で判断できるようになってほしいと思います。ルールを守れないと、せっかくの便利な道具が使えなくなってしまうかもしれません。もう一度、自分の使い方を振り返ってみてください。

③廊下の歩行（これが一番「危ない!」という意見が多かった）

「雨の日に廊下を走っている人が多い」「曲がり角でぶつかりそうになっている」「階段で遊んでいる」という声がたくさんありました。廊下はみんなの通り道です。1年生のような小さな体の子に、もし皆さんが走ってぶつかったらどうなるでしょうか。大きな怪我につながるかもしれません。「自分は大丈夫」という気持ちで、誰かの痛い思いにつながります。廊下は「右側を静かに歩く」。その言葉を、ぜひ真剣に受け止めてください。

きまりがあるのは、この学校を「みんなが安心して、楽しく過ごせる場所にしたい」と心から願っているからです。「自分たちの学校を、自分たちで良くしていく」ために、一人一人が考えて行動することが大切です。

今日から、中庭での過ごし方、クロームブックの使い方、そして廊下での歩き方を、少しずつ変えていきましょう。皆さんの行動が変われば、この学校はもっともっと素敵な場所になります。



全校で行った「1年生を迎える会」

6年生と一緒に入場する
1年生

代表委員会が中心となって「1年生を迎える会」が行われました。6年生が1年生の手をつないで、入場しました。玉垣小学校オリジナル「玉垣レインボー」を歌い踊ったり、代表委員が考えた玉垣小学校に関する〇×クイズを行ったりしました。全校で心を一つに活動することの大事さを感じました。代表委員さん、ありがとう！



エンドウ豆の皮むき体験（2年生）

栄養教諭の清水先生に実エンドウ豆について教えていただき、実際に皮むきをしました。



2年生が皮をむいたエンドウ豆



豆がとんでいかなないように、紙で作った箱に入れました。エンドウ豆は給食の献立（肉じゃが）に使われました。自分たちでむいた豆の味は格別だったでしょう。こどもたちにとって、体験や経験はとても大事です。実感を伴い、こどもたちの心を動かすことが、感性を育てることにつながります。2年生はJA玉垣支店に御協力いただき、夏野菜（ミニトマト、ししとう、ピーマン、なす）を一人一鉢ずつ育てています。また、収穫して家に持ち帰ったら、一緒に収穫を喜び、召し上がってください。

こども議会

鈴鹿市では、「鈴鹿市こども議会」を開催し、こどもがまちづくりへの興味関心を高め、主体的にまちづくりに参加しようとする態度を育む機会としています。具体的には、こども議員が学校生活や鈴鹿のまちの様々な身近な課題について、現地調査や聞き取り調査などを行い、議会で意見を述べます。5月30日（土）に市役所でこども議員の任命式があり、玉垣小学校から6年松元愛莉さんが参加しました。こども議員は市内小中学校から2年に1回、各校1名参加します。

こども議員として、こどもの意見を集め、議場で、鈴鹿市に堂々と述べてください。（廣田教育長）



引き渡し訓練

民生委員等地域の方、ありがとうございました

昨年度に引き続き、車可能の引き渡し訓練を行いました。昨年度より、スムーズに行うことができました。交通整理等で、民生委員等、地域の方には大変お世話になりありがとうございました。

